

課題 9-1 実数の部分集合の組 (A, B) で次の条件を満たすものを、実数の切断という。

- (1) $A \neq \emptyset, B \neq \emptyset$
- (2) $A \cup B = \mathbb{R}$
- (3) $A \cap B = \emptyset$
- (4) 任意の $a \in A$ と任意の $b \in B$ に対し, $a < b$ が成り立つ.

課題 9-2

- (1) $A = \{x \mid x \text{ は有理数}\}, B = \{x \mid x \text{ は無理数}\}$
これは 切断ではない. なぜなら, 上の定義の (4) を満たさないから $(1 < \sqrt{2} < 2)$.
- (2) $A = \{x \mid x < 0\}, B = \{x \mid x > 0\}$
これは 切断ではない. なぜなら, 上の定義の (2) を満たさないから $(0 \notin A \cup B)$.
- (3) $A = \{x \mid x \leq 0\}, B = \{x \mid x \geq 0\}$
これは 切断ではない. なぜなら, 上の定義の (3) を満たさないから $(0 \in A \cap B)$.

課題 9-3

実数の「連続性の公理」とは、任意の切断 (A, B) に対して、次のうちどちらかが必ず成り立つことである；

- A に最大値が存在し, B に最小値が存在しない,
- A に最大値が存在せず, B に最小値が存在する.

次のような有理数の切断

$$A = \{x \in \mathbb{Q} \mid x \leq \sqrt{2}\}, \quad B = \{x \in \mathbb{Q} \mid x > \sqrt{2}\}$$

を考えると, A の最大値も, B の最小値も存在しない. このことから有理数の集合は「連続性」を満たさない.